

## 議事録

会議名	令和3年度宇都宮市社会福祉審議会全体会
開催日時	令和4年3月17日(木) ※ 新型コロナウイルス感染症の感染予防のため書面開催
出席者 ※資料送付者	原千鶴委員, 長谷川武士委員, 金崎芙美子委員, 福田智恵委員, 三條安子委員, 渡辺弘一委員, 唐木成仁委員, 塩澤達俊委員, 手塚英和委員, 麦倉仁巳委員, 鈴木勇二委員, 檜山和子委員(職務代理者), 影山房與委員, 桶田正信委員, 興野憲史委員, 中澤和男委員, 浜野修委員, 大山知子委員, 増山哲茂委員, 依田祐輔委員, 生井俊一委員, 安藤明秀委員, 三坂茂晴委員, 生田敦委員, 木村由美子委員, 関口浩委員, 山口建一委員, 上野元子委員, 池本喜代正委員, 長谷川万由美委員, 下妻久男委員, 松本カネ子委員, 鈴木和芳委員, 朝野春美委員, 大森健一委員(委員長)
公開・非公開	公開
会議概要	1 議事 (1) 令和3年度専門分科会の調査審議結果について (2) 令和4年度全体会及び専門分科会調査審議予定案件について 書面議決により承認 ⇒ 意義がないことから原案のとおり決定する
内容 (意見概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的孤立は、大きな課題だと考える。市民意識を分析し、市民を巻き込み、意識醸成と行動変容となるようP D C Aをまわすようお願いしたい。(福田委員)</li> <li>・ 地域共生社会に向けて、地域福祉計画が大きな計画となることから、条例をきちんと策定していく必要がある。(福田委員)</li> <li>・ 認知症の早期発見等には力を入れているが、診断を受けた本人・家族のフォローの相談等の心のケアと理解ある専門家やケアが必要であると思う。専門分科会の縦割りでなく、横のつながりが必要であると思う。(三條委員)</li> <li>・ コロナ禍では、障がいのある方や高齢の方など、より困難な方が多く影響を受けることは、この2年で実感してきたと思う。こまめなPCR検査を実施するなどして、リスクを最大限抑え込み、困難のある方が暮らしやすい施策になるような工夫を凝らさなくてはならないと思う。(原委員)</li> <li>・ 民生委員と地域包括支援センターの連携が必要ではないか。(三條委員)</li> <li>・ コロナ禍で書面開催とのことだが、Web会議や広い会議室で行うなど、工夫して直接説明を受け、意見交換を行う必要性を感じる。(福田委員, 唐木委員)</li> <li>・ 児童福祉に関する分野についても、計画や進捗について、確認していく必要があると考える。特に障がい福祉、地域福祉の領域では、児童福祉も視野に入れて考えるべきである。(福田委員, 長谷川委員)</li> </ul>